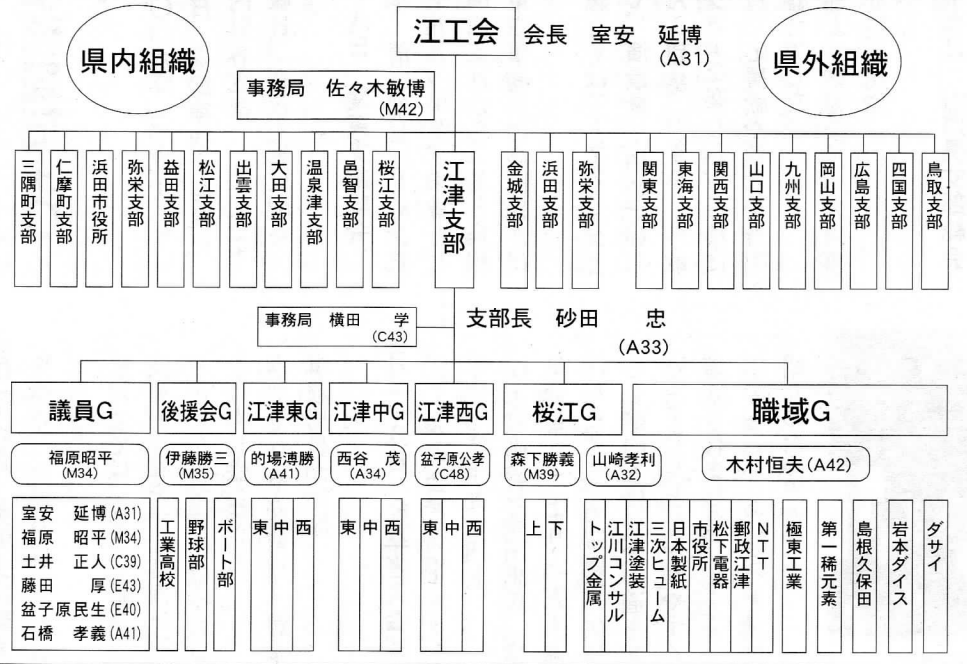


### 江工会江津支部運営組織



有志が顔を合わせるたびに、議論していたのも事実でありました。

卒業生一二、〇〇〇余名で、母校近辺で五、〇〇〇名前後の、江工OBが生活を送っておられる事実があります。

一方、現在の母校の状況は、少子化の波をもろにかぶり、最盛期の昭和三十年代には七

学科一、〇五六名の在校生が、今では三学科三〇〇人になり、高根県下全体を見ても高校再編は急速に進み（H18益田工業高・川本高統合）、母校はいつも学校・学級再編制の議論の対象となり、母校存続の危機すら見え隠れしている昨今であります。

### 江工会江津支部の役割

推薦	役員	役割	推薦	所属
本部長	砂田 忠 (A33)	本部長	砂田 忠 (A33)	本部
副部長	上手 武光 (C35)	副部長	上手 武光 (C35)	本部
議員	福原 昭平 (M34)	副部長	福原 昭平 (M34)	市議会
職域	木村 恒夫 (A42)	副部長	木村 恒夫 (A42)	職域
地域	盆子原公孝 (C48)	副部長	盆子原公孝 (C48)	江津西
地域	西谷 茂 (A34)	副部長	西谷 茂 (A34)	江津中
地域	的場 溥勝 (A41)	副部長	的場 溥勝 (A41)	江津東
地域	森下 勝義 (M39)	副部長	森下 勝義 (M39)	桜江地
地域	山崎 孝利 (A32)	副部長	山崎 孝利 (A32)	桜江地
後援	伊藤 勝三 (A35)	副部長	伊藤 勝三 (A35)	後援会
幹事	各代表者	幹事	池田 隆司 (E43)	職域、地域、後援会
監事	池田 隆司 (E43)	監事	本田 博 (A43)	職津東
事務局	横田 学 (C43)	事務局	横田 学 (C43)	職津東

さらに、母校の所在する地元江津市は市町村合併が進んでも人口は三万人にも足らず、このままでは人口はどんどん減り、老人中心の高齢化社会の最先端のまちになり、市の存在も危惧され、住民等しく危機感を覚える状況であります。

以上のような問題課題が山積する中でありますが、市内にある、ものづくりの匠を養成する優秀な「人材育成の場である工業教育（江津工業高）」と「市内にある優良企業」が連携したならば、

必ずすばらしい「ものづくりのまち」へとよみがえり発展し、「賑わいが戻ってくる。」のではないかと、「その接点にわれわれ地元OB」が、ネットワークを組み、眠れる獅子集団が起き上がり、「学校・企業・社会（OB）・行政」とが連携するならば、きっと「すばらしい生徒」が育ち、「すばらしいまち」に生まれ変わって行くのではないかと、そんな気持ちから地元有志が相集い「江工会江津支部」を平成十八年九月十六日に立ち上げたところでもあります。

この支部の特徴は、前述の目標達成のため既存企業等にある江工会支部と市内の地域別に横断的に、江工会OBの江津市民ならずすべてが加入できる仕組みにしているところと、県外支部との交流の受け皿の役割、さらに在学生の相談相手も担います。

今後は、会員の加入促進と血の通った組織へと発展するよう、役員一同張り切っております。

事務局長及び事務局は、  
横田 学さん (C43卒)  
【E-mail】  
(yokota@dasai.jp) です



昨年11月下旬頃より受取人を淀川郵便局私書箱51号人事新報社名簿出版事業部とした調査ハガキが会員の皆様に郵送されていますが、これは江工会や母校とは全く関係はありません。業者が営利目的に勝手な詐欺まがいの行為（価格も高く、内容も伴わない）を働いていると思われる。調査に応える義務も、購入をする義務もありません。くれぐれもご注意を頂きますようお願いいたします。

# 事務局だより

二〇〇六年 (平成十八年)

二月二日 会報第四十号発行

県内外各支部、地元企業、教職員、在校生等に配布。

二月十八日 関東支部総会

塚本 清支部長はじめ会員七十五名の出席、来賓として関西支部から二名と島根県東京事務所の高田氏が出席。

懇親会ではアトラクションとして、演歌歌手山崎ていじさん (建築 51 年卒) の歌謡ショーを楽しみ、最後に全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。  
本部より室安会長・岩田事務局長が出席。

二月十九日 山口県支部総会

上田博祥支部長はじめ会員三十三名の出席 (担当以下松地区)、来賓として広島地区から三名の出席。

懇親会では、手品やカラオケを楽しみ、地区別の自己紹介もあり、最後に全員で応援歌や、校歌を斉唱し盛会でした。

本部より岩井教頭・佐々木一郎元事務局長が出席。

二月二十六日 弥栄支部総会

栗栖卓三支部長はじめ会員九名の出席。

懇親会では、地元名物の猪鍋を囲み和やかな雰囲気、最後に全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。  
本部より室安会長・倉本事務局長が出席。

二月二十八日 新卒者入会式

江工会入会者 (平成十七年度卒業生九十四名) 江工会副会長砂田忠氏 (建築 33 年卒) より「人生逃げたらダメ」の演題で、気持ちを前向きに自分の道を開いて下さい」と分かりやすく講話されました。  
室安会長、あいさつと講師紹介のため出席。



江工会入会式 ('06.2.28)

五月十六日 江工会館

運営委員会

十七年度事業・決算報告、十八年度事業・予算審議。

五月十六日 江工会理事会・総会

十七年度事業・決算報告、十八年度事業・予算審議。すべての議案が承認された。江工会館運営の移管については昨年承認済み、今年度は移管を確実に進めるよう確認。



江工会総会 ('06.5.16)

五月二十八日 江津市議会議員選挙で江工会員の当選者

室安延博氏 (建築 31 年卒) 福原昭平氏 (機械 34 年卒)

総会や懇親会に遠くは益田市・浜田市・川本町からも出席。学校からは金山校長・岩井教頭・安野事務局長・難波総務部長らの出席で親交を深めることができた。

六月四日 関西支部記念総会

橋目福司支部長はじめ会員百十名の出席、来賓として関東支部から三名と島根県大阪事務所の須川氏、工友会の先生方二十一名の出席。

懇親会には、五十回記念総会ということ、ご家族の出席も多くアトラクションでは、郷土の石見神楽や山崎ていじさんの演歌オンスタージで盛り上がり、また、恩師の工友会の先生方とも昔話に花が咲いていました。  
本部より室安会長・金山校長・佐々木文人事務局長が出席。



関西支部 第50回記念総会 ('06.6.4)

七月二十八日 江津支部設立準備会

室安会長はじめ江工会員市議五氏と横田学氏 (工化 43 年卒) 他二名の出席。

学校より事務局の佐々木敏博が代理で出席。  
横田氏のプレゼンにより今後の方向性や準備作業について検討。続いて懇親会も催された。

八月十四日 石州瓦工業組合との意見交換会

関西支部の藤井浩史氏 (建築 29 年卒) と関東支部の勝田友治氏 (電気 38 年卒) のお世話で第三回目となる意見交換会が催され、例年の倍の三十四名にもおよぶ方々の出席があり、石州瓦の販路拡大に向けて活発な意見交換が行われました。

八月二十七日 弥栄支部設立二十周年の集い

栗栖卓三支部長はじめ会員十二名の出席。

母校見学の後、懇親会に移り、懐かしい思い出話や近況、見学の感想などを語り合い、最後に校歌や応援歌を大合唱、若い会員の方が多く、明るく活発な会となりました。

本部より室安会長、金山

校長、佐々木敏博事務局長  
倉本事務局長が出席。

九月十六日 江津支部設立  
準備委員会

室安会長はじめ地元会員三十五名の出席。  
支部設立の主旨説明に続き運営組織や規約の制定などを協議。砂田副会長を支部長に選任し、出席者を幹事として発足する事を決定。懇親会では、出席者全員の自己紹介や決意表明で盛会でした。



江津支部 設立準備委員会 ('06.9.16)

十二月二十五日 益田支部総会

田淵直徳支部長はじめ会員十九名の出席。

総会前に記念写真を撮り各種議案の審議がありました。

懇親会は総勢二十二名とな

り、母校の思い出や近況を和やかに語り合い、また日中に行われたゴルフコンペの表彰式や手品の余興等で盛り上がりしました。  
本部より室安会長・金山校長・佐々木二郎事務局長が出席。



益田支部 総会 ('06.11.25)

十二月二十四日 江津支部情報交換会

報交換会

砂田 忠支部長はじめ会員十八名の出席。支部設立後三ヶ月間の経緯や今後の予定、情勢分析など、情報交換の後、土井正人氏（工化39年卒）の地域開発スポーツ賞（山陰中央新報社）受賞記念の祝賀懇親会にうつり、和やかに歓談し、最後に校歌を斉唱し盛会でした。

本部より室安会長、金山校長、上手副会長、事務

局より佐々木敏博が出席。



江津支部 情報交換会 ('06.12.24)

同窓会

十月十一日

機械科二十七年卒（船出会）江津市（パレス和光）にて15名参加。  
毎年開催。本年は宮島開催予定。

十月十二日

機械科三十五年卒（石松会）宇治市（花やしき浮舟園）にて24名参加。  
恩師松下滋夫先生、盆子原良友先生ご出席。

十月三十一日

機械科二十八年卒（紫旗会）由布市（ゆふいんホテル秀峰館）にて第13回8名参加。  
恩師盆子原良友先生ご出席。

工友会総会報告

本年度の第二十三回工友会総会・研修旅行は、江工会関西支部第五十回記念総会に参加するため、大阪開催となりました。

六月三日早朝に江津を出発、私は松江から便乗、十九名の懐かしい会員の皆様と一緒させていただきました。総会の議事は全てバスの中で済ませ、二〇〇名近い卒業生の待つ大阪へと期待が膨らみました。到着後、支部役員のお世話で大阪城散策を楽しみました。

六月四日、関西随一の日本庭園を持つ「太閤園」で総会が開催されることとなり、まず橋目関西支部長の挨拶に始まり、室安江工会会長・金山校長・塚本関東支部長の来賓挨拶の後、議事が審議され、楽しみの懇親会が盛大に開催されました。

石見神楽・山崎でいじさん（昭和51A科卒）歌謡ショーなど熱気のもつたアトラクションで盛り上がり、多数の同窓生と共に旧交を温めることができました。私にとって昭和四十二年に担任したA科の卒業生（昭和42卒）や部

活の卒業生など四十数年ぶりに懐かしい面々に出会うことができたことは本当に良かったと喜んでいきます。「旭光燦たる星高山と・・・」と校歌の大合唱で記念の行事が無事終了、満ち足りた気持ちで大阪を後にしました。この度の総会を通して、あらためて関西支部の皆さんの結束の強さ・母校への思いやる気持ちを肌で感じる事ができました。現在、生徒数は減少していますが、母校への江工会の皆さんの一層のご支援を期待し、私共も今後温かく見守っていきたいと思います。最後になりましたが、私達を心から歓迎していただいた関西支部の皆さんに厚くお礼申し上げます。

（松江市在住 園山哲也記）



大阪城にて第23回工友会総会 ('06.6.3~4)

工友会だより

平成17年度江工会一般会計決算書

[1] 収入の部

Table with 5 columns: 費目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増△減, 摘要. Rows include 繰越金, 会費・入会金, 寄付金, 繰入金, 雑収入, 収入合計.

[2] 支出の部

Table with 5 columns: 費目, 本年度予算額, 本年度決算額, 差引, 摘要. Rows include 1.事業費, 2.管理費, 3.積立金, 4.予備費, 支出合計.

収入総額 1,220,153 - 支出額 1,172,158 = 差引残高 47,995円

平成18年度江工会一般会計予算書

Table with 5 columns: 費目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増△減, 摘要. Rows include [1] 収入の部, [2] 支出の部.

十二月四日

機械科三十四年卒 (五九童会)

東京台東区 (水月ホテル 外荘) にて25名参加。

恩師盆子原良友先生ご出席。

十二月六日

機械科三十九年卒 (緑松会)

浜田市 (金城観光ホテル) にて24名参加。

十二月十二日

機械科三十九年卒 (緑松会)

追加開催

江津市 (栄寿し) にて4名

参加。

恩師盆子原良友先生ご出席。

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます

旧職員 宮村 宣雄 (社会)

室谷 良秋 (機械)

西村 明久 (電気)

増田 勲 (機械)

会 員

井川 豊昭 (機械25年卒)

坂口 真 (工化53年卒)

藤本 正光 (機械27年卒)

藤田 光弘 (機械25年卒)

田中 (森脇) 久人 (木建14年卒)

徳田 隆幸 (機械44年卒)

橋本 浩 (建築36年卒)

田中 一雄 (木建13年卒)

宇津 勝美 (併中23年卒)

中嶋 卓哉 (建築49年卒)

沖田 能規 (機械52年卒)

上手 隆幸 (工化43年卒)

小林 久義 (工化43年卒)

白井 博 (電気43年卒)

渡辺 昌朋 (電気38年卒)

河野 勝弘 (建築38年卒)

佐々木 謙 (工化43年卒)

編集後記

多忙な折り、快くご寄稿

いただきましたこと、厚く

お礼申し上げます。おかげさまで第四十一号を発行することができました。

一面の写真は校歌に歌われています星高山の中腹より市街地を見渡したものです。

遠く母校の西側に、昨年六月に開院した済生会総合病院を見ることが出来ます。

なお、会報に対しましてご意見、情報 (同窓会報告、会員消息等) がございましたら事務局へご連絡をお願いいたします。

皆様からのおたよりを お待ちしています

江工ホームページアドレス

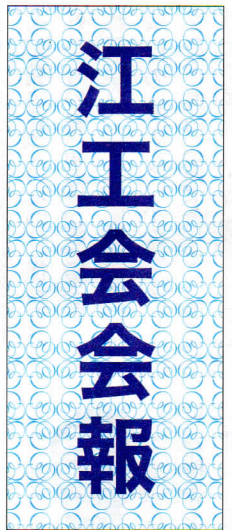
http://www.shimamet.ed.jp/goutu-ih/

〒 695-0011

島根県江津市江津町 1477 番地

TEL.0855-52-2120 · FAX.0855-52-2264





発行所  
江 工 会

島根県江津市江津町1477  
島根県立江津工業高校内  
電話 (代) 0855-52-2120  
郵便番号 〒 695-0011

# 亥年を迎えて

会長室 安 延 博

(建築科昭和 31 年卒業)



輝かしい新春をお揃いで元氣にお迎えのこととお慶

び申し上げます。

また、昨年九月に宮家におかれましては「秋篠宮悠仁」親王がご誕生されました。会員の皆様方と共に祝い申し上げたく存じます。

五年間続いた小泉政権の後を受け「美しい国、日本」をキャッチフレーズに誕生した安倍内閣。現在我国の景気は、マスコミ、経済紙によると戦後最長の「いざなぎ景気」を越えたと報じられています。実感を覚えないが、その進展持続を期待するところであり

ます。国外に於ては、近隣北朝鮮のミサイル発射・地下核実験による北朝鮮制裁を決議した国連安保理。イタリア総選挙での政権交代。ブレア英首相

の一年以内の退陣表明。米国の中間選挙で民主党勝利等、国内外とも政治経済を含め人災天災が多い年でした。本年は亥年で動物にたとえると猪

であります。より良い方向に猪突猛進で有りたいたいものです。昨年江工会各支部の総会にお招きいただき出席させて頂きました。その活動・活躍振りに感銘すると同時に、若い

会員の参加が見受けられ大変嬉しく感じた次第です。

また私事、就任以来の念願でありました江工会江津支部の設立が成されました。市内の江工会支部は、市役所支部・元山陽バルブ支部（現日本製紙ケミカル江津事業所）などが組織されていましたが、この

度市内各企業グループを包含した組織結成がされました。折しも、永井良三・江津商工会議所会頭（江工後援会会長）様より産業振興の為

江津市及び市議会に對して、島根県の産業支援を受けて江津工業高校卒業生を中心とした組織が立上げられ、既存の「チャレンジ 21」「ポリテク振興会」等との情報を共有し工業の振興を図るため「江津市工業支援協議会」（仮称）の設立依頼がなされたところです。

地域に於ける江工会江津支部の果たす役割が期待されると共に、地場産業振興の原動力に寄与出来る事を確信するものです。

一方、平成の大合併もひと段落したもの、郷里石見地方は急激な少子高齢化に歯止めがかからず、県立学校再編成計画が提案なされる中、未

来の江工会会員確保に、学校当局共々その打開策として新たな取組みに努力をしなければ成らない事と思ひます。結びに、各支部のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。

## 新春のごあいさつ

校長 金山 幸三



江工会会員の皆様には新春をお元氣でお迎えになら

す。母校の教育活動に格別のご理解と温かいご支援を賜り誠に有り難うございます。昨年は母校の事務室を騙り、卒業生の携帯電話の番号や勤



星高山中腹より江津シビックゾーンを望む

務先を聞くという事件が起りました。学校としてはホームページに「注意」を記載するとともに新聞社（朝日新聞、山陰中央新報、中国新聞）にこのことの記事掲載の依頼をし、卒業生に注意を呼びかけました。これに引き続き再び卒業生のところに江津工業

高等学校同窓名鑑を作成するから申込みをしないことというはがきが届いたということでした。この二つの件で卒業生の方から本校にたくさんのお問い合わせがありました。学校としても何のために使うのかわからず心配をしております。新聞社の方から聞いた話によると、携帯電話の番号等を聞くのは振り込み詐欺などに悪用するつもりではないかということですから。卒業生の方々には、本当にお気をつけて頂きたいものと思っております。

島根県の人口減少も歯止めがかからず、県の調査によると平成二十五年には、島根県の総人口が七十万人を割るといふ推計が出ています。本校のある江津地域も例外ではなく、このまま何もしないでいると、江津市の存続すら危惧されています。産・官・学が連携して江津市に活力をもたらそうと色々な企画・施策が行われようとしています。

本校創立の主旨は「この地域には立派な山林があるけれども、木工、家具、建築の技術が発達していない。従って県外からの製品の技術に圧倒されている。これは適当な技術取得の場がないからである。また、人口が増大して、農業だけでは暮らしが成り立たな

い。これらの、この地方独自の情勢を考えて、子供が将来安定した就業が出来ること。また、地方産業の振興を目的とする」でした。当時の時代背景を振り返ってみると、当地区は農業・養蚕を中心とした社会で、林業や製造業は発達していませんでした。農業は長男が跡を継ぐと次男、三男以降は働く場所を求める必要がありました。その次男、三男が働き場所を求める時に手に技術を持つていたら、仕事に就きやすいということで、その技術取得の場所として本校は創立されたということでした。開校以来、本校の均質な卒業生は地元を離れ「ものづくり日本」の繁栄を支えてきました。この創立の主旨が現在で

# 江工会支部だより

## 支部活動の活性化に

### 思いを寄せて

関東支部野山散策同好会  
幹事 金子英樹  
(機械科昭和36年卒業)



会員の皆様には、御家族お揃いで輝かしい平成十九

年の新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。穏やかな天

も生きていて、地元で卒業生が残らないことに結びついているのではないかと考えたりしています。今年の卒業予定者で地元に残るものは三割をきりました。母校のある地元(江津市)が活性化する為には、何といつても若い力が必要で、地元へ一人でも多くの卒業生が残り、地域活性化の中核的な人材の輩出を考え、色々な施策を計画しています。地元の良さ・誇り・自信を身につけ、地元で目を向ける教育を模索しております。

諸先輩方の母校へのさらなる温かいご支援をお願いするとともに、皆様方のご活躍とご健康をお祈りし挨拶とさせていただきます。

候に恵まれた幕開けと成り、待望の初日の出とも対面を果たし希望の持てる年を予感出来ましたが、皆様は如何でしたでしょうか。

日頃は、関東支部の活動に對し、心熱きご支援とご協力を戴き大変有難う御座います。心よりお礼申し上げます。支部活動の活性化への起爆剤の役目を担う事が出来ればと

昨年より立ち上げました野山散策同好会もお蔭様で昨年の暮れで、五回の例会のハイキングを開催する事が叶いました。振り返ってみますと、陣馬山の頂上から富士山と三六〇度の眺望に浸り、下山後に陣馬の湯で身体の疲労を取る事にした第一回例会。ニコウキスゲの咲き乱れる黄色い絨毯の中を歩いた泊での尾瀬ヶ原の二回目の例会。更に、日本百名山の二つ那須茶臼岳に登り、那須温泉に泊まり、心身共にリフレッシュした第五回目の例会。



那須連峰茶臼岳にて ('06.10.27)

る大きな波に揉まれて居る母校の永遠存続への苦闘等、情報共有化と同時に今後の支部活動の在り方を夜半まで論じてみたり、時にはカラオケ大会会場に変化をしてみたり、と会を重ねる毎に確実に親睦の輪が濃く大きく広がって行く手応えを感じて居る次第です。今年度も、会員の皆様のご協力を得て更に例会を重ねて行く事にして居ます。どうぞ、更なるご支援を賜ります様宜しくお願い致します。

関東支部に於きましては、二月十八日(日)十九年度の総会の懇親会に於いて、会員の皆様のご要望と役員全員の念願であった、「石見神楽」の上演が決定して居ります。これは、江工会本部、及び江津支部、特に横田学事務局長の御尽力によるものと、紙面をお借りして深く感謝申し上げます。この総会を成功させる事が関東支部の今年度の最大の課題と役員一同、心に刻み込んで居ます。

最後に成りますが関東支部の今後の活動に二層の御指導御支援を賜ります事をお願い申し上げます。江工会本部並びにそれに連なる、各支部の益々のご発展を祈念申し上げます。上げながらペンを置かせて戴きます。

以上のような、無理をしない、適度な運動と、温泉に浸かり心身の癒しと親睦に力点を置いた例会を重ねて来ました。時には、お酒を嗜みながら、江工会の活性化について、郷土島根の元氣復活への道、少子化と環境から押し寄せて来

さらなる飛躍を

関西支部長 橋 目 福 司

(建築科昭和39年卒業)



江工会の会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び

申し上げます。

昨年、関西支部は記念すべき50周年記念総会を盛大に挙行致しました。

半世紀というながきに渡り活動を継続してこられたのも、諸先輩の江工会に対する熱意の賜物であることを身にしみて感じました。ここに関西支部会員の皆様に心より感謝申し上げる次第です。

ここで当日の模様を簡単にご紹介致します。第一部の総会では担当役員より支部規約改定、活動報告、会計報告、活動計画等の報告があり全ての議題を満場一致で了解して頂きました。

第二部の懇親会は記念撮影に始まり『有福温泉神楽団』による石見神楽が演じられました。なかでも、『大蛇』の8頭は圧巻でした。あの『太閤園』の舞台が狭いくらいの状況の中、会員はもとより、『工友会』の先生、ご家族・親戚・友人の方々も時間を忘れるくらいでした。又、江工出身の



有福温泉神楽団による「大蛇」

演歌歌手『山崎ていじ』君にも出演してもらい新曲で総会を盛り上げて頂きました。

特筆すべきは『工友会』の先生方のご参加を頂いたことです。昨年の会報でも紹介致しましたが、やはり実際のお元気な、お顔を拝見いたしまして、懐かしさがこみ上げて来るのを押えきれませんでした。

各科ごとのテーブルでは先生方を囲み、和気藹々と昔懐かしい話を昨日のことのように話して頂き会員一同感激しました。いつまでもお元気で長生きして頂きたく、心より支部会員一同祈念申し上げます。

昨年末には、恒例となっております親睦会を開催致しました。これは今まで支部活動にご尽力頂いた諸先輩と、現支部役員の交流の場として毎年実施しています。今回39年建築卒の白須君が大坂勤務となったのを機会に

この親睦会に出席して頂き、出席者と楽しく歓談して頂きました。

現在支部役員の悩みは、総会案内の転送が増加しており発送数が年々減少していることです。この会報をご覧になられた方で住所を変更された会員の方は、是非とも連絡をして頂きますようお願い致します。

今年から新しい半世紀の歩が始まります。世間では団塊の世代の退職が話題となつてい

第四十五回県支部総会開催

山口県支部長 上 田 博 祥

(建築科昭和33年卒業)



江工会会員の皆様あけましておめでとう御座居ます。

お健やかに新年をお迎えの事と存じます。皆様、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

昨年は、山口県として八代目の安倍内閣総理大臣が、「美しい国日本」を目指して誕生しましたが、昨今の日本は内外共に、多岐に渡り混とんとしております。国債の発行残高が微少はしましたが、六ヶ

国協議、年金、イラク問題、今年は特に、消費税のアップも取りざたされ、税負担が一

ますが、江工会はこれからが始まりと思っております。今後は団塊の世代が支部運営の中心となつて、さらなる飛躍のために頑張りたいと考えていますので宜しくご支援お願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げますと共に、今後とも関西支部の活動にご指導、ご協力をお願い致します。

層高齢者にとり、厳しくなるものと思われ

又県知事、地方首長の談合問題と次から次報道されました。小学生の殺害、家庭内殺害と凶悪事件が多く発生し、あらゆる面で私達の生活の周辺まで影響を及ぼして来た一年であったと思ひます。

この様な時こそ、会員同志、連携を密にすることも重要な事でしょう。支部総会も、交流の場として更なる活躍をして行きたいと思ひます。

第四十五回江工会山口支部総会を下松市笠戸島、ヒラメ料理で有名な瀬戸内海国立公



第45回山口県支部総会 (於：下松市大城リゾート)

園「国民宿舎、大城リゾート」に三十八名のご出席をいただき二月十九日に行いました。江工会本部より岩井教頭先生、事務局長(当時)、佐々木様、当地までおいでいただき江工の近況報告、就職状況等の報告を受け、又山口支部の報告等の審議の後、老若同窓生の恒例の懇親会を行っております。

山口支部におきましても、高齢化が進んでおりまして、毎年ほぼ同じメンバーですので和気あいあいと、在校当時の思い出話に、酒盛、江工の卒業生と言う事で、何

のためらいもなく話しは済み、カラオケ、恒例となりました、本部の佐々木先生の数々の手品の余興などで時間が過ぎてしまいました。最近はいよいよ山口県に就職する新卒業生もほとんどない状況でしょうか、若い会員が参加する

よう、同期、地域、同郷の会員に声を掛けていただきますよう、ご協力をお願いします。一人でも多くの人に懇親の和を広げたいと頑張っております。最後に江津工業高校の発展を祈念しますと共に江工会山口支部もよろしく、お願いします。

### 江工会益田支部

#### ゴルフコンペ

益田支部 増本 健次

(建築科昭和59年卒業)

初冬の十一月二十五日(土)早朝七時三十分集合で江工会益田支部のゴルフコンペが行われました。幹事の伊藤さん(今大会の優勝者)と私、増本が七時十分に準備をするため会場に到着すると、既に藤原健三さんと堀義春さんは早々と練習をしておられました。「さすがに優勝候補」。今回このゴルフコンペは、益田支部総会と併せて開催されました。ゴルフコンペに参加された方は、夕方行われる総会にも参加するので、終日会員とお付き合いができ、たつぷりと親睦ができたと思います。今回の参加メンバーは三組、十名で行いました。田淵支部長さんの挨拶をいただき、その中で年二回はコンペをしたいとのことでした。なかなか顔を会わせる機会のないなかで、大変いい機会を与えて頂きました。参加者が少ない中でも各組笑いの絶えないラウンドでした。また年代も幅広く大先輩から同級生と江工会ならではの心配された天気も良く、気持ちよくプレーができました。

成績は総会の中で発表する

予定なので直前まで幹事も見ないでおき、伊藤幹事の命により懇親会の席で開封しました。上位六位までが80台から90台の前半とすばらしい成績でした。競技方法がダブルペリア方式なので誰が優勝するかわからないなかで、なんと筆頭幹事の伊藤延夫さんが優勝の栄誉を手に入れました。

ゴルフコンペ、総会、懇親会と大変盛り上がった中で二日でした。総会及び懇親会には室安会長様、金山校長先生をはじめご来賓の方々のご臨席を頂き、まことにありがとうございました。また、佐々木一郎先生のマジックのうまさにはビックリでした。おかげさまで懇親会がほんとうに楽しく過ごすことができました。

最後に来年再来年と末永く、この会員の方々と元気にゴルフができますようにご祈念いたします。



ゴルフコンペ表彰式 ('06.11.25)

### 懐かしい校舎

弥栄支部長 栗 卓 三

(電気科昭和52年卒業)

早いもので、江工会弥栄支部結成より二十年が経ちました。二十周年記念の行事について会員の皆様に相談したところ、市民レガッタは高齢化のため無理だろうから、学校見学は如何かとの意見がありました。考えてみれば、長い人は卒業以来の方も居られるはずです。小型バスを準備して学校見学の後、江津市内の施設で小宴会という案で計画しました。



母校見学 校訓碑前にて

八月二十七日の当日は、参加者十五名で弥栄を出発して約一時間で学校に到着しました。暑い日でしたが、さらに約二時間かけて校舎の周りを巡り昔話に花咲かせました。私が現役の時あった木造校舎はほ



弥栄支部設立20周年の集い ('06.8.27)

なつて行ければと感じています。最後になりましたが、会員の皆様、関係の方々のご協力に感謝しますと共に時節の折お休を各自愛なされますよう祈っております。

### 「江工会江津支部誕生」

江工会江津支部

初代支部長 砂 田 忠

(建築科昭和33年卒業)



室安本部長が県外支部の総会に出られるたびに、

「本部のある地元はどうなっているのか。」「母校のある地元がしっかりとこそ、県外支部も故郷を応援するやりがある。」と重い荷物を背負って帰ってきておられた様子を幾度か聞いていました。

振り返って見ると、私自身も第線の公職から身を引いた時、今までの市役所支部から退会し、身の寄せる所のない寂しい思いをした根無し草でありました。

また、団塊の世代の人々がこれまた、第線から大量に退かれる時代を迎え、豊富な知識と経験、世界に通用する匠の技を持った江工OB(江工健児)を、再びこの実社会に貢献してもらおう場やネットワークづくりは出来ないものかと